

男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
(美浦村女性行政推進協議会)

新天地に
慣れるには：

北林 日菜



もうすぐ今年度も終わりますね。新年度から新たな場所で新生活を始める方、あるいは別の地域から新たに美浦村に転入していらっしゃる方もいらっしゃるのではないでしょうか。新生活に慣れることのコツとして、「その土地のことをよく知る」ということ。確かに私も数年前に美浦村に転入してきたときには、知り合いを作るよりも先に、この地域について知ることから始めました。それをきっかけに、ふとしたことから現在の女性行政推進協議会に誘っていた

だき、徐々に横のつながりも増えました。

住む土地というのは、朝から晩まで意識しなくてもかわっているものですから、そこに愛着を持てば持つほど、暮らしやすくなってくるのではないのでしょうか。

子どもは大人に比べて異文化適応能力が高いように思います。彼らは何に対しても好奇心がいつぱいで、食欲に物事を知ろうとします。そうやって情報収集することで、新しい環境に早く慣れているのかもしれない。



さて、美浦村では昨年、「美浦かるた」というご当地かるたが誕生しました。

この「美浦かるた」には、美浦の歴史、文化、特産物、特長等が端的にまとまっており、美浦村という土地を知るのにうってつけです。村のホームページよりダウンロードして、ご自宅で印刷して楽しめます。最下段までスクロールしてご覧ください。(村ホームページ <http://www.vill.mho.lg.jp/page/page001902.html>)

男女共同参画社会について 一緒に学んでみませんか？

美浦村女性行政推進協議会（共に輝くみほの会）では、活動を共にできる会員を募集しています。(男性の入会も可)

□お問合せ 役場企画財政課

4月7日(火)には「仮題」美浦かるたで遊んでみよう」を開催します。詳細のお知らせもどうぞお楽しみに。



※絵手紙同好会の方のカラーな絵で2歳児でも楽しめます。ひらがなや美浦っ子の英才教育に、是非ご利用ください。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社題「春・雪」二字以上詠み込み有季無季随意

春はこつそりそこまで来てる帽子ずらした猫柳

春に先がけ園児が咲かす介護施設の餅の花

記録更新白鵬関の春を呼び込む相撲界

声を掛けたら元気な子等の春が来たよなハイタッチ

春よ来い、天神様に祈る合格娘の姿

遥か彼方の真白き富士に心癒して春を待つ

山に北風ロウバイ香り桜つぼみで春を待つ

仇討ちかな夜半の雪に首をもがれた寒椿

やさし日差しが白雪富士を映す湖面に見る勇姿

春を待たずに黄色い花をそつと咲かせる福寿草

花の青春強制的に少女悲しき自爆テロ

風と雨雪静かに耐えて春を告げてる梅の花

梅の見頃にうつすら雪が風情色増す宵月夜

雪の舞う夜佇しさつるの凍みる寒さに人恋し

根雪ちよるちよる雪だけ奏で春を呼び込むさかい水

梅はまだかとたずねてみれば肩に冷たいぼたん雪

みんな生きてた根雪がとけりや春へ青々萌える草

春のぬくもり感じることも早く桜を元氣出る

母の背中であかす足が腰にからんで春間近か

二月の俳句(題当季雑詠)

樋走る足音零す冬雀

川千鳥まとふは日矢の光りかな

寄り合ふて命の話春炬燵

終活も春の息吹きに一休み

注文の生花とともに彼岸待つ

イスラムの鬼を打ちたき追儼豆

薄氷の朝日にきしむ音冴ゆる

卒寿への思ひ新たに初日記

何故にうぐいす餅のあくぼみ

菜の花や利根の川面を黄に染めし

北の国樹霜を抱き山眠る

飯塚筑風

田島草実

上野八千代

本橋清湖

下村松陽

小池きよし

沼寄朋香

山崎笑子

小蘭江久美

伊藤葉子

高橋一歩

磯西涼香

門脇悠美

長谷川悦子

塚本夏雲

石戸葎華

篠原美千代

渡辺希代

関根ヒデ子

(五十音順)

青野安佐子

石毛恵美子

岡野洋子

木澤はしめ

高柳幸子

田島早苗

中島輝子

松葉よしぬ

松本秀子

宮崎きみ枝

矢原はつひ